

平成 28 年度

**「校長経営戦略支援予算配付申請書」
(基本配布)**

大阪市立東三国中学校

校長 名田正廣

平成 28 年 4 月 15 日

指導部で記入 →

申請受付日

【様式 1】

(所属(市費)コード 642394)

大阪市立東三国中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算配付申請書(総括)

1 学校運営における現状と課題

【視点 学力の向上】・・・全国学力状況調査においては5領域の数値が全国平均値程度の数値であった。これは学校が安定し、授業をしっかり受ける習慣による。次年度も学校の安定継続をはかる。英検3級程度30%はおおむねクリア。ICT化についてはプロジェクター活用が英語科で活性化している。進路指導において100%全員が進学希望で達成できた。次年度も第一目標。・・・カリキュラム関連

【視点 道徳性・社会性の育成】・・・規範意識の醸成の取り組みが定着しつつあり。学校元気アップボランティアの登録数が550人を超え生徒の安定につながっている。効果的な活動のありかたについて学校・コーディネーター・ボランティアで検討する。・・・マネージメント、カリキュラム関連

【視点 健康・体力の保持増進】・・・朝食習慣において直近の調査で全国平均をうわまわり、啓蒙の継続を行う。また全国体力・運動能力調査の平均値が男女とも全国平均をうわまわっており、学校の安定が基礎体力の向上につながっており次年度も継続して学校の安定を図る。・・・カリキュラム関連

2 学校運営の中期目標

【視点 学力の向上】・・・自己実現できる学力をつける

○ICT化した指導を定着させる(目標指標・学校アンケート等肯定率70%)。国語・数学における学力の定着(目標指標・全国学力調査平均値)、英語力の向上(目標指標・英検3級程度35%)、すべての授業満足度を向上させる。(目標指標・学校アンケート等肯定率70%)・カリキュラム改革関連

【視点 道徳性・社会性の育成】・・・安心できる「情のある」教育環境をつくる

○規律ある安定した学校を構築するために「段階的生活指導を活用した指導」および、マルチレベルアプローチを導入し、自尊感情の向上を目指す。

○適応しやすい学校環境をつくるための指導体制を構築する。(目標指標・学校アンケート等肯定率70%)・マネージメント関連・カリキュラム改革)

【視点 健康・体力の保持増進】・・・踏ん張りのきく体力をつける

○生徒の体力を全国平均程度に定着させる。(目標指標・全国体力調査平均値)・カリキュラム改革関連

3 中期目標の達成に向けた年度目標

z 【視点 学力の向上】・・・自己実現できる学力をつける

○授業力向上のための教員研修を積極的に実施する。(学校アンケート等肯定率70%) 国語・数学の知識に関する問題Aの正答率を全国平均値以上目指す。3年生の英検3級程度35%を目指す。電子機器活用のICT活用授業を活性化(学校アンケート等肯定率50%)。○図書館におけるICT化および自主学習システムを構築し、生徒の読書習慣および基礎学力向上を目指す。(学校アンケート肯定率70%) ○卒業時の進路保障においてきめ細かな指導を推進し、100%生徒が進路決定できるよう努力する。・・・カリキュラム改革

【視点 道徳性・社会性の育成】・・・安心できる「情のある」教育環境をつくる

○「規範意識の醸成(段階的生徒指導基準)」「生徒が協働できる集団づくり(アセス・SEL・協同学習・ピアサポートなど)」などを積極的に導入し「生徒の過ごしやすい学校づくり」を目指す。(学校アンケート等肯定率70%) 積極的に学校支援ボランティアを活用し本校教育を活性化させる。○さまざまな理由で学校環境に適応しにくい生徒のサポートを積極的に行う。(学校アンケート等肯定率70% 不登校出現率を前年度より低下。) ○学校の理解のために、学校協議会を活性化させる。(傍聴者を全年度より増やす。) ○生徒のボランティア意識を向上させ、特に「防災」についての取組を活性化させる。(学校アンケート肯定率70%)

【視点 健康・体力の保持増進】・・・踏ん張りのきく体力をつける

○朝食習慣については摂取率を全国平均値程度になるように啓蒙を踏む。(学校アンケート肯定率等80%)

○体力指標全項目全国平均程度を目指す。(全国調査指標) 睡眠習慣をしっかりつける。(学校アンケート肯定率80%)

4 27年度の自己評価結果の総括 ※27年度の運営に関する計画再掲

【視点 学力の向上】・国語A・数学Aとも全国平均程度をクリアした。3年生英検29.3%（ほぼ30%達成）ICT授業アンケート生徒肯定率・授業経験あり96% わかりやすい83% 職員授業力向上研修会年間6回実施 学校の安定に伴い学力などは向上している。

【視点 道徳性・社会性の育成】・（生徒アンケート肯定率）秩序がある学校83% 決まりを守っている91% 学校が楽しい81% 個々に応じた適応指導場所あり83%・不登校やや増加傾向（適応指導室設置し通所指導開始）全体的に肯定率は80%以上あり目標の70%を上回った。

【視点 健康・体力の保持増進】全国運動能力調査・全国平均上まわる。全国調査・生徒質問紙では朝食習慣肯定率は全国を下回ったが（84%）平成28年1月の調査では朝食習慣3年生95%に増加している。学校の安定に伴い体力・生活習慣の啓蒙が進んでいる。

5 28年度の自己評価結果の総括 ※運営に関する計画再掲（年度末に記述）

6 事業執行管理体制名簿

学校長 (名田正廣)
教頭 (福崎真広)
学校事務職員 (谷原真美・余島江里加)

大阪市立東三国中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

年度目標	達成 状況
【視点 学力の向上】・・・自己実現できる学力をつける ○授業力向上のための教員研修を積極的に実施する。(学校アンケート等肯定率 70%) 国語・数学の知識に関する問題 A の正答率を全国平均値以上目指す。3 年生の英検 3 級程度 35% を目指す。電子機器活用の ICT 活用授業を活性化(学校アンケート等肯定率 50%)。 ○図書館における ICT 化および自主学習システムを構築し、生徒の読書習慣および基礎学力向上を目指す。(学校アンケート肯定率 70%) ○卒業時の進路保障においてきめ細かな指導を推進し、100% 生徒が進路決定できるよう努力する。・・・カリキュラム改革 【視点 道徳性・社会性の育成】・・・安心できる「情のある」教育環境をつくる ○「規範意識の醸成(段階的生徒指導基準)」「生徒が協働できる集団づくり(アセス・SEL・協同学習・ピアサポートなど)」などを積極的に導入し「生徒の過ごしやすい学校づくり」を目指す。(学校アンケート等肯定率 70%) 積極的に学校支援ボランティアを活用し本校教育を活性化させる。 ○さまざまな理由で学校環境に適応しにくい生徒のサポートを積極的に行う。(学校アンケート等肯定率 70% 不登校出現率を前年度より低下。) ○学校の理解のために、学校協議会を活性化させる。(傍聴者を全年度より増やす。) 【視点 健康・体力の保持増進】・・・踏ん張りのきく体力をつける ○朝食習慣については摂取率を全国平均値程度になるように啓蒙を語る。(学校アンケート肯定率等 80%) ○体力指標全項目全国平均程度を目指す。(全国調査指標)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【視点 学力の向上】 生徒の学力向上のために有識者などの指導 デジタル教材の購入	
指標 年度目標に表記	
取組内容②【道徳性・社会性の育成】 安定した学校生活を送るための人材確保・環境整備() 規範意識の醸成・豊かな人格を作るための講師要請	
指標 年度目標に明記	

27年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【視点 学力の向上】・国語A・数学Aとも全国平均程度をクリアした。3年生英検29.3%（ほぼ30%達成）ICT授業アンケート生徒肯定率・授業経験あり96% わかりやすい83% 職員授業力向上研修会年間6回実施 学校の安定に伴い学力などは向上している。

【視点 道徳性・社会性の育成】・（生徒アンケート肯定率）秩序がある学校83% 決まりを守っている91% 学校が楽しい81% 個々に応じた適応指導場所あり83%・不登校やや増加傾向（適応指導室設置し通所指導開始）全体的に肯定率は80%以上あり目標の70%を上回った。

【視点 健康・体力の保持増進】全国運動能力調査・全国平均上まわる。全国調査・生徒質問紙では朝食習慣肯定率は全国を下回ったが（84%）平成28年1月の調査では朝食習慣3年生95%に増加している。学校の安定に伴い体力・生活習慣の啓蒙が進んでいる。

28年度への改善点

【視点 学力の向上】 協同学習など積極的な授業方法の改善。図書館を中心とした学力向上の取組の活性化。ICT化に向けた教材の工夫 英語教育の充実

【視点 道徳性・社会性の育成】

規範意識の醸成。マナー教育の定着。ジュニアリーダーを中心とした学校全体の防災教育の深化 開かれた学校づくりの向上

【視点 健康・体力の保持増進】

睡眠習慣の定着。朝食習慣の定着。スマホなどの使い方などの定着

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度（今後）への改善点

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

大阪市立東三国学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

学校配付申請額 445,400 円

※配付上限額(※円単位)									
学校配当		学級数	学級配当		特別支援学級数		学級配当		
300,000	+	9	×	30,000	+	2	×	30,000	
学びサポーター経費 (様式A経費合計欄再掲)									
配付上限額				学校配付申請額					
=	630,000	-	184,600	=	44,5400				

◆学校配付申請額費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料	12-7 損害保険料
200000	100000					

13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費	合計
			75600		445600

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【視点 学力の向上】・自己実現できる学力をつける(カリキュラム関連)		
・英語教育充実のためのデジタル教材・学力向上のために協同学習における生徒直接講師招聘		
予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
校用器具費	NHK LEAD(デジタルウェブ教材)費用	75600
消耗品費	学力向上のための消耗品	69800
取組内容②【視点 道徳性・安全性の育成】		
・総合学習などの講師謝礼・安全確保のための泊行事看護師謝礼(マネジメント関連)		
予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
報奨金	看護師謝礼・引率謝礼・総合学習講師謝礼協同学習生徒講師謝礼・	200000
消耗品	安定した学校づくりのための校内整備関係消耗品	100000
取組内容③		
.		
.		
.		

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

平成 28 年度

**「校長経営戦略支援予算配付申請書」
(加算配布)**

大阪市立東三国中学校

校長 名田正廣

平成 28 年 4 月 26 日

申請受付日

指導部で記入 →

【様式 3 - 1】

(所属(市費)コード 6 4 2 3 9 4)

大阪市立東三国中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書

年度目標（一部抜粋）	達成 状況
【視点 学力の向上】・・・自己実現できる学力をつける ○図書館における I C T 化および自主学習システムを構築し、生徒の読書習慣および基礎学力向上を目指す。 【視点 道徳性・社会性の育成】・・・安心できる「情のある」教育環境をつくる ○積極的に学校支援ボランティアを活用し本校教育を活性化させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
取組内容①学力向上のための図書館の活性化【視点・学力の向上】(カリキュラム関連)	
指標・図書館開館日数(週 7 日以上) 図書館使用生徒(前年度比 2 0 0 % 以上増) ・自主学習に関するアンケート(肯定率 8 0 % 以上)・学力の推移調査	
取組内容②防災・ボランティアステーションの整備【視点・道徳、社会性の育成】	
指標・防災アンケート、肯定率 8 0 % 以上 「情働の環流」地域アンケート肯定率 8 0 % 以上	
27 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【視点 学力の向上】・国語 A・数学 A とも全国平均程度をクリアした。3 年生英検 2 9. 3 % (ほぼ 3 0 % 達成) I C T 授業アンケート生徒肯定率・授業経験あり 9 6 % わかりやすい 8 3 % 【視点 道徳性・社会性の育成】・(生徒アンケート肯定率) 秩序がある学校 8 3 % 決まりを守っている 9 1 % 学校が楽しい 8 1 % 個々に応じた適応指導場所あり 8 3 %。	
28 年度への改善点	
2 7 年度達成状況の中で特に「情働の環流コンセプト」による・図書館活用による学力向上・ジュニアリーダーによる防災活動 を改善の中心としたい。 ○情働の環流に関する部分で言えば平成 2 7 年度までの図書館については社会性の育成をベースにした図書館運営であった。読書習慣が少しずつ定着してきたものの開館日が週 5 回程度であり、今年度は最低 7 回、コンスタントに週 1 0 回開館をめざし、I C T を活用した自主学習システムを構築し、学力の向上を目指した図書館運営の割合を多くする。 ○本校学校元気アップボランティア事業により①学校の安定②開かれた学校づくり③校内外における生徒の安全確保などの効果が見られるが、環流内にあるジュニアリーダー活動を軸に「命を守る防災活動」に特化した活動を推進することによって「情働の環流」の付加価値をつけ、本校教育上の重点とする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度（今後）への改善点	

大阪市立東三国中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書

学校配付申請額 2,670,200 円

◆学校配付申請額費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料	12-7 損害保険料
568000	148600		97200			

13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費	合計
291600			1564800		2672000

◆取組内容・予算内訳

取組内容①学力向上に重点をおいた図書館の活性化【視点・学力の向上】 (カリキュラム改革)		
予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
報償金	図書室内学習指導員 報償費 (年間@900 円×360h) (3h×2日×30w・朝学含む +2h×3日×30w) +交通費 480 円×150 回	416000 円
報償金	ICT 有識者指導要請 報償費 (@7100 円×20H+交通費 1000 円×10 回)・・・1 回 2H を 10 回指導	152000 円
校用器具費	ICT デジタル教材 (3 教科×3 学年 @86400 円×9) ★国語「三省堂」 数学、英語「東京書籍」	777600 円
取組内容②防災・ボランティアステーションの整備【視点道徳性・社会性の育成】 (マネージメント・カリキュラム改革)		
予算内訳		
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
校用器具費	外付け倉庫 (@84240 円×5/イナバ MJX-176D)	421200 円
校用器具費	緊急用校内放送設備 (南館 3・4 階・管理塔)	216000 円
校用器具費	玄関広報用ディスプレイ (30inch Dell 品番 U3014)	150000 円
建物修繕費	外付け設置倉庫・緊急放送設備・TV アンテナ工事 (3 件)	97200 円
委託料	東北防災研修派遣費用 (生徒 4・ボランティア 1・教員 1) (@48600 円×6)	291600 円
消耗品費	ICT 周辺機器・収納用容器など	100000 円
消耗品費	情報収集用テレビ (20 型程度・防災ステーション用)	48600 円

「情働の環流」を軸にした学校づくり**一学校元気アップボランティア（登録目標1500人）とジュニアリーダー活動を相乗的に活用した「防災至上」「図書館活性化による学力向上」の取組み一**

本校では平成25年度より開始した学校元気アップボランティアが現在550名を超え、毎日多数のボランティアに活動いただいている。本校での活動終了後、連続的に校区小学校でも活動していただき小中の風通しもよく、特に校内の問題行動が本校では以前より激減、安定した状況での学校運営が可能になり学力・体力とも向上している。

表題にある「情働の環流」とは『「情」のある「働き（活動）」を「環流（リンク）」させる』ことで、ボランティアの恩恵を受けることに対して礼をもって接するのみならず、無理なくお返しボランティアをすることが大切であると指導し、その組織形態として「ジュニアリーダーボランティア（全生徒対象・希望制）」を平成27年に結成した。

昨年度は区長・消防署長・地域関係者・ボランティアの多数参加の中、結団式を行い、休日地域清掃を5回、地域防災訓練・研修会参加を5回、地域運動会協力を2回、小学校活動協力を3回実施してきた。また、元気アップボランティアとともに「東北被災地研修」を3月に実施し、**生命を守る防災活動**に特別な意識を持ち「情働の環流」を学校のエンジンとして学校・保護者・地域が一体となった活動を推進した。

これら活動を軸に今年度は「情を持った人の集う場所」をテーマに平成25年度より本校のランドマークとしての「図書館」を環流の活動拠点として①学力向上に重点をおいた「図書館」の活性化。新たに②「防災・ボランティアステーションの整備」（使用教室を確保するための備品倉庫の確保）を重要戦略として策定する。

③ **「学力向上に重点をおいた図書館の活性化」**・平成25年度より戦略的に図書館整備・活性化に取り組んだ結果、多数のボランティアや生徒が家族的な雰囲気集い読書を楽しむ場として機能してきた。今年度は、**原則、昼休み・放課後の毎日開館**。週2日程度の早朝開館・月1回程度の土曜開館（小学生・保護者・地域への開放）などを計画し、週10回程度の開放を目標にする。特に、学校元気アップボランティアより本予算を活用したICTに詳しい学習指導員（学校元気アップボランティア）の採用、デジタル教材・学習アプリなど（授業にも活用）購入し、今年度より本校に導入される「ヨドジュク（淀川区事業）」ともリンクした放課後・早朝における自主学習システムを構築し、学力向上に取り組む。なおこれらの活動を広報しやすいように玄関にディスプレイを設置する。（玄関LAN工事済み）

④ **「防災・ボランティアステーションの整備」**

緊急時の防災・ボランティアステーションの整備が急務である。本校には3階以上に南北校舎の接続通路はなく、北館3階にある体育館および教室は大津波が来た際には孤立するため避難所には使えない。そのため、南館の3階以上に生徒や住民を避難させる必要性があり、その際の指令拠点としての防災ステーションは必要で緊急放送設備・TVなど情報機器の整備が急務である。本校では熊本の地震の2日後にジュニアリーダーが緊急ミーティングを開き、いち早く復興募金を開始（タウン紙・ザ淀川で紹介）。多数のボランティア人脈の地域諸団体で募金活動を実施している。その動きは「生徒・ボランティア・教職員計18名で実施した平成28年3/25・26の東北被災地ボランティア体験を通じて学んだことの実践であり、**「ひがっぴー すすんで防災 自助・共助」**をスローガンに今年度は活動の幅を広げる。そのうえで本校が取り組む「情働の環流」による防災の取組・実践をもって防災拠点体験学習を兼ねた「相互実践活動報告会」を計画する。

使用に適している残余教室がほとんどない本校において、現在倉庫として使用している教室2室（防災・ボランティアステーションのスペース）の確保が急務であり、その倉庫内の備品等を収納する外付け倉庫などの購入が必要不可欠である

以上2点において、特に学習用デジタル教材、防災・ボランティアステーションの機器・備品・物品廃棄・防災拠点派遣費用（生徒5名・教員1名・ボランティア1名）・外付け収納倉庫（5台）・玄関広範囲ディスプレイなどが今年度必要な経費になる。これらについては本校の最大の特色である550名を超える学校元気アップボランティアの人的活用につながり、育成目標である「**やるときにはやる東三国中フランド**」を確固としたものにするために校長経営戦略支援予算（加算）を申請・活用を切に希望する。ご承認のほどよろしくお願い致します。

九州地方で震度7、続く余震。 区内で始まる支援活動。



東三国

東三国中学校では、ジュニアリーダーが募金活動を開始。「すぐにできることとして始めました。みんなが協力してくれてうれしい」と3年生の西原世渚さん。「筆記用具などの物資も募る予定です。少しでも力になれば」と佐藤佳乃さん。東三国センターでも募金箱を設置。地域とネットワークしながら、今後の支援を考えていくそうです。

◎淀川区社会福祉協議会◎

淀川区社会福祉協議会では、災害ボランティアセンターの立ち上げと、今後の現地での活動に向けて、募金を呼びかけています。大阪市・大阪府・堺市の社会福祉協議会が、4月22日から熊本県へ行き、現地視察をした後、災害ボランティアセンターを立ち上げる予定。「本格的な生活支援は、余震が収まってからになると思います」と、事務局の篠崎ゆう子さん。

◎防災朝市ネットワーク◎

東日本大震災で、現地の混乱を避けるため、「隣から支援」の方法で、山形県酒田市から宮城県南三陸町へ、物資等を運び支援を続けた「ぼうさい朝市ネットワーク」では、熊本県と県境の宮崎県五ヶ瀬町に、物資の受け入れ拠点を構築。必要なもののリストが届きました。

<http://rq-center.jp/category/rq-kyushu> (随時更新。最新更新分と特に多く必要なものが太字で示されています)★編集部でも義援金を募っています。

4/22 廿 淀川 取材

- 近日 発行予定 -

三津屋

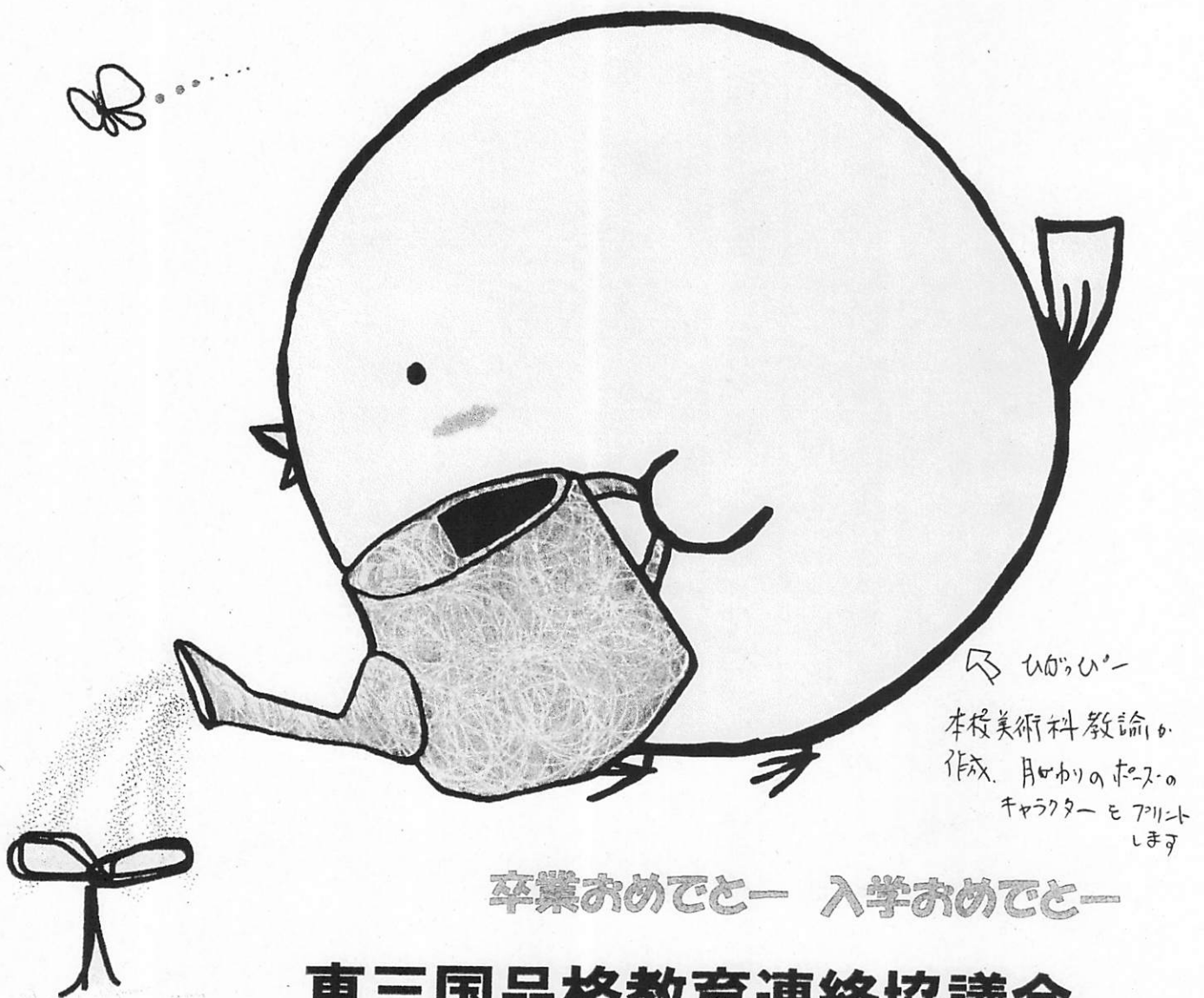
熊こ
三津屋商店

三津屋
支援の協
店街組
置。昨
も現
そう
チー
物資、
状況
被災
のひと

3・4月テーマ

勤 勉

きんべん



ひがしひー

本校美術科教諭が
作成。月曜日のホースの
キャラクターをアクリル
します

卒業おめでとうー 入学おめでとうー

東三国品格教育連絡協議会

東三国中では427.10月より 品格教育 (Character Education) を実施
誰もが表出する「目標とする行動」とする言葉と達成すべく、東三国2社協、2小、学政、
2保育園、1専内学校とリンクし、ポスターを作成し、共通の目標と持て、生徒、児童、国民の
育成につとめています。